

① 所有者コード
記載の必要はありません。

② 資産の種類
資産の種類は、表のとおりです。

資産の種類	番号
構築物	1
機械及び装置	2
船舶	3
航空機	4
車両及び運搬具	5
工具・器具及び備品	6

③ 資産コード
記載の必要はありません。

④ 資産の名称等
帳簿や固定資産台帳等で管理している資産名称を記載してください。

⑤ 数量
資産の数量を記載してください。

⑥ 取得年月

年号	番号
明治	1
大正	2
昭和	3
平成	4
令和	5

年号は表に従って、数字で記載してください。年月は資産を取得した年月を記載してください。ただし、**1月1日に取得した場合は、その前年の12月を取得年月としてください。**

第二十六号様式別表一(提出用)

種類別明細書(増加資産・全資産用)

年度		① 所有者コード	⑤ 数量		⑥ 取得年月	⑦ 取得価額	⑧ 耐用年数	⑨ 減価残存率	⑩ 価額	⑪ 課税標準の特例率	⑫ 課税標準額	⑬ 増加事由	⑭ 摘要
行番号	資産の種類	資産コード	数量	年	月	千円	年	%	千円	%	千円		
01	2		1	4	〇〇	2 096 500	17					1	
02	6		1	4	〇〇	250 000	6					1	
03	6		1	4	〇〇	230 000	5					1	
04	6		1	4	〇〇	260 000	5					1	
05	6		1	5	〇〇	300 000	6					1	
06												1-2	
07												1-2	
08												1-2	
09												1-2	
10												1-2	
11												1-2	
12												1-2	
13												1-2	
14												1-2	
15												1-2	
16												1-2	
17												1-2	
18												1-2	
19												1-2	
20												1-2	
小 計			6			3 136 500						1	

注意 「増加事由」の欄は、1 新品取得、2 中古品取得、3 移動による受入れ、4 その他 のいずれかに○印を付けてください。

記載例 2

⑦ 取得価格
取得価格には取引運賃、設置費用等も含んだ金額を記載してください。消費税については、税込経理方式を選択されている場合は、取得価格に含めてください。改良費(資本的支出)については、本体とは別に記載してください。圧縮記帳を行っている場合は、圧縮前の取得価格を記載してください。

⑧ 耐用年数
税務会計上の耐用年数を記載してください。

⑨～⑫
記載の必要はありません。

⑬ 増加事由
1 は新品取得、2 は中古取得、3 は企業内移動による受入、4 はその他です。なお4 の場合は摘要欄に具体的な事由を記載してください。

⑭ 摘要
取得価格の修正事由や特例が適用される事由等を記載してください。

⑮ 所有者名
所有者の方の氏名を記載してください。

⑯
種類別明細書の枚数と、そのうちの何枚目かを記載してください。